

首里城復元へ

「首里城復元に向けた技術検討委員会」を開催！

令和元年10月の火災により焼失した、首里城正殿等の復元のための計画策定に向け、令和元年11月に「首里城の復元のための関係閣僚会議（議長：内閣官房長官）」が立ち上げられました。12月11日には、第3回の同会議において「首里城復元に向けた基本的な方針」が決定されました。これを受けて沖縄総合事務局では、「首里城復元に向けた技術検討委員会」を設置、12月27日に第1回委員会を開催致しました。



首里城正殿等 火災状況



令和元年度 第1回首里城復元に向けた技術検討委員会
(令和元年12月27日)

首里城復元に向けた技術検討委員会は、高良倉吉琉球大学名誉教授を委員長とし、歴史・文化、文化財、建築物、彩色、防火対策、公園・観光の各方面分野の有識者を委員、各関係省庁を協力委員として設置しています。

今回開催された、第1回委員会では、前回復元時の基本的考え方を踏襲することを確認し、また、防火対策、材料調達の考え方等を議論し、さらに3つのWG(防災WG、木材・瓦類WG、彩色・彫刻WG)の設置を確認しました。年度内に「首里城正殿等の復元工程表策定に向けた技術的検討に関する報告(仮称)」をとりまとめる予定です。

上記の委員会やWGの開催、沖縄県や関係省庁との調整業務に対応する必要があることから、首里城正殿等の復元及び整備に係る事業の推進体制を強化するため、令和2年1月1日付けをもって、沖縄総合事務局に首里城復元整備推進室を設置しました。緊急増員された5名を含む、計14名の体制で、1日も早い首里城の復元に取り組んで参ります。



首里城 正殿(平成4年復元時)